



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社戸上電機製作所

コード番号 6643 URL <https://www.togami-elec.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）戸上 信一

問合せ先責任者 （役職名）取締役上席執行役員 管理本部長 （氏名）仁部 和浩 TEL 0952-24-4111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	7,468	11.5	782	39.9	855	44.6	601	46.1
2026年3月期第1四半期	6,700	5.0	559	△15.8	591	△25.6	411	△26.8

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 804百万円（99.0％） 2026年3月期第1四半期 404百万円（△47.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	129.77	—
2026年3月期第1四半期	85.43	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	33,932	24,864	72.4
2026年3月期	33,428	24,432	72.2

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 24,569百万円 2026年3月期 24,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	60.00	—	80.00	140.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	70.00	—	70.00	140.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2026年7月31日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	14,950	8.3	1,300	1.5	1,400	2.8	950	12.5	204.89
通期	31,500	2.5	3,800	1.4	4,000	0.3	2,850	6.5	614.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2026年7月31日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	4,711,858株	2026年3月期	4,795,458株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	75,342株	2026年3月期	158,866株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	4,636,528株	2026年3月期1Q	4,821,490株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしましたが、原材料・エネルギー価格の高止まりや円安による物価上昇、混乱する中東情勢や米国の通商政策の動向など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、DX推進等による生産性や品質の向上、主力製品の継続的なコストダウン、販売価格の適正化などに取り組んでまいりました。

その結果、配電用自動開閉器や配電盤及びシステム機器などの需要が好調に推移したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,468百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加や一部製品においてコスト上昇に伴う価格改定を実施したことにより、営業利益は782百万円（同39.9%増）、経常利益は855百万円（同44.6%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は601百万円（同46.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①産業用配電機器事業

産業用配電機器事業の売上高は6,289百万円（同15.1%増）となりました。製品区分別の詳細は以下のとおりとなります。

（電子制御器）

電磁開閉器につきましては、一部の海外向け需要が減少したことにより、売上減となりました。

一方で、電力会社向け配電自動化用子局につきましては、一部の電力会社において次世代型への更新や配電設備強化の動きが継続したことなどにより、売上増となりました。

その結果、電子制御器全体の売上高は1,754百万円（同6.1%増）となりました。

（配電用自動開閉器）

主力製品である波及事故防止機器（通称SOG開閉器）につきましては、継続的に回復してきた需要に加え、各種コスト上昇に伴う適正価格への転換が徐々に浸透したことにより、売上増となりました。

電力会社向け配電用自動開閉器につきましては、次世代型への更新需要の拡大や配電設備強化の動きが継続したことなどにより、売上増となりました。

その結果、配電用自動開閉器全体の売上高は3,713百万円（同20.9%増）となりました。

（配電盤及びシステム機器）

配電盤につきましては、設備更新案件が増加したことにより、売上増となりました。

システム機器につきましては、設備更新工事等の案件規模は縮小したものの、排水処理施設に関する工事案件が増加したことなどにより、売上増となりました。

その結果、配電盤及びシステム機器の売上高は822百万円（同10.9%増）となりました。

②プラスチック成形加工事業

樹脂成形分野における部品等につきましては、自動車業界の需要が減少したことから、売上高は840百万円（同6.4%減）となりました。

③金属加工事業

金属加工における部品等につきましては、産業用機械の需要が増加したことから、売上高は329百万円（同10.2%増）となりました。

④その他

プラスチック成形加工事業に付随する金型加工やソフトウェア開発等につきましては、需要が減少したことから、売上高は9百万円（同75.9%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は21,301百万円となり、前連結会計年度末に比べ263百万円増加いたしました。これは主に仕掛品が382百万円増加したことによるものであります。固定資産は12,631百万円となり、前連結会計年度末に比べ240百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産に含まれる投資有価証券が223百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は33,932百万円となり、前連結会計年度末に比べ504百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円増加いたしました。これは主にその他に含まれる未払費用が842百万円増加、賞与引当金が473百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が19百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は9,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は24,864百万円となり、前連結会計年度末に比べ432百万円増加いたしました。これは主に配当金の支払額370百万円により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上601百万円により、株主資本が230百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月8日に公表いたしました第2四半期（累計）及び通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年7月31日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,244,780	7,615,205
受取手形、売掛金及び契約資産	5,679,024	5,160,167
電子記録債権	1,182,471	1,171,568
商品及び製品	1,894,869	1,906,501
仕掛品	1,774,343	2,156,344
原材料及び貯蔵品	2,718,617	2,787,462
その他	543,095	503,849
流動資産合計	21,037,201	21,301,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,554,022	3,616,076
その他（純額）	3,483,337	3,476,155
有形固定資産合計	7,037,359	7,092,232
無形固定資産	379,591	360,807
投資その他の資産		
その他	4,977,172	5,181,370
貸倒引当金	△3,100	△3,100
投資その他の資産合計	4,974,072	5,178,270
固定資産合計	12,391,023	12,631,310
資産合計	33,428,225	33,932,408
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,762,507	1,579,407
電子記録債務	1,026,635	1,070,065
短期借入金	380,660	380,400
未払法人税等	523,167	304,381
賞与引当金	957,377	483,415
完成工事補償引当金	19,379	18,719
その他	1,306,483	2,231,240
流動負債合計	5,976,211	6,067,629
固定負債		
長期借入金	218,840	199,000
退職給付に係る負債	2,617,733	2,612,000
その他	182,861	188,917
固定負債合計	3,019,434	2,999,917
負債合計	8,995,646	9,067,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,899,597	2,899,597
資本剰余金	579,891	579,891
利益剰余金	19,648,464	19,487,567
自己株式	△744,155	△352,946
株主資本合計	22,383,798	22,614,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,058,693	1,205,564
為替換算調整勘定	467,145	517,200
退職給付に係る調整累計額	238,150	232,894
その他の包括利益累計額合計	1,763,989	1,955,659
非支配株主持分	284,790	295,092
純資産合計	24,432,578	24,864,860
負債純資産合計	33,428,225	33,932,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,700,726	7,468,182
売上原価	5,147,603	5,568,478
売上総利益	1,553,122	1,899,703
販売費及び一般管理費	993,943	1,117,163
営業利益	559,179	782,539
営業外収益		
受取利息	672	1,485
受取配当金	37,104	45,742
為替差益	—	6,543
その他	32,359	23,497
営業外収益合計	70,135	77,269
営業外費用		
支払利息	2,140	2,585
為替差損	32,081	—
固定資産除却損	1,523	176
その他	2,065	1,554
営業外費用合計	37,811	4,316
経常利益	591,503	855,492
特別利益		
固定資産売却益	—	264
特別利益合計	—	264
税金等調整前四半期純利益	591,503	855,756
法人税等	175,497	247,326
四半期純利益	416,006	608,430
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,097	6,734
親会社株主に帰属する四半期純利益	411,908	601,696

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	416,006	608,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,016	150,971
為替換算調整勘定	△60,237	50,055
退職給付に係る調整額	△1,666	△5,256
その他の包括利益合計	△11,887	195,769
四半期包括利益	404,118	804,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395,962	793,365
非支配株主に係る四半期包括利益	8,155	10,834

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、見積実効税率が使用できない一部の連結会社については法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注3)
	産業用配電 機器事業	プラスチック 成形加工事業	金属加工事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,465,377	897,109	299,024	39,214	—	6,700,726
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,102	113,516	320,940	56,560	△492,121	—
計	5,466,480	1,010,626	619,965	95,775	△492,121	6,700,726
セグメント利益	807,695	42,788	30,755	4,266	△326,326	559,179

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラスチック成形加工事業に付随する金型加工やソフトウェア開発等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△326,326千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日 至2026年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注3)
	産業用配電 機器事業	プラスチック 成形加工事業	金属加工事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,289,215	840,013	329,521	9,431	—	7,468,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	303	134,349	394,275	52,962	△581,891	—
計	6,289,519	974,363	723,796	62,393	△581,891	7,468,182
セグメント利益	1,057,914	54,219	63,148	2,018	△394,760	782,539

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラスチック成形加工事業に付随する金型加工やソフトウェア開発等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△394,760千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	200,477千円	211,774千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。